

みなさん、こんにちは。

いよいよ2学期が始まりました。夏休み中の様々な学習や自由研究の他、校外での体験を終えて、ひと回り大きくなった子どもたちが学校に戻ってきたことでしょう。心も身体もバランスよく成長してほしいですね。

1. やきものコレクション名品展 古陶磁から現代陶芸まで

今日、9月5日(火)から文博と日本陶磁協会明石支部との共催で「やきものコレクション名品展 古陶磁から現代陶芸まで」が始まりました。

“やきもの”の歴史は古く、今日まで大切に伝えられてきた名品の数々は、時代や地域を越えて愛されてきました。今回の展覧会は、平成16年に発足した日本陶磁協会明石支部会員のコレクション及び制作品を中心として展覧するものです。現在の同支部会員には、各地の名品の収集家や県下で作陶を続ける陶工の方がいます。会員の収集品から、県内及び近隣の窯で焼かれた“やきもの”の数々と、伝統をふまえつつ、新たな創作活動を意欲的に続けている兵庫県ゆかりの現代陶工の作品を紹介いたします。



日本の古窯のコーナー



市野雅彦 彩泥器「曙」



兵庫県下のやきものコーナー

朝から雨模様の空でしたが、熱心なやきものファンが次々と会場を訪れ、じっくりと一点一点を鑑賞されていました。

展示構成(出品点数72点)

- 日本の古窯(信楽・備前・丹波・京)
- 明石周辺のやきもの(朝霧・明石・人丸・舞子・須磨・野田)
- 兵庫県下のやきもの(三田・東山・珉平・大久保・出石・有馬・湊光)
- 県外のやきもの(梅林・万古・南紀男山・薩摩・大樋)
- 兵庫県ゆかりの現代陶工の作品

講演会のお知らせ

日時：9月17日(日)13:30～

講師：森 孝一氏(日本陶磁協会主任研究員)

演題：『陶磁器鑑賞いろいろ』

電話予約受付中です。(先着100名、聴講無料・要博物館観覧料)

2. くらしのうつりかわり展「昭和なつかし博覧会」学校団体予約受付中です。

9月5日(火)現在で、明石、神戸、加古川から48校の申し込みがありました。2月の午前中が混み合ってきています。午後、あるいは1月、3月には余裕がありますので、予約はお早めをお願いします。

「昭和なつかし博覧会」前期 平成19年1月4日(木)～2月4日(日)

後期 平成19年2月6日(火)～3月21日(水・祝)

予約はすべて電話受付となります。(078)918-5400・5405(担当：永田、加藤)

前期は1・2階を使った展示、後期は1階のみの展示となり、観覧料金が異なります。詳細は当館までお問い合わせ下さい。